

特別企画「リウマチ外科医の苦労を讃える会」のご案内

日程：2022年9月9日（金）18：15～

会場：第2会場（アクロス福岡 B2F イベントホール B）

内容：全国からリウマチ外科医が集まるこの会で大変だった症例を提示していただき、先生方の日頃のご苦労をお互いに讃えあう会を予定としております。人の苦労話程勉強になることはありませんし、若手の先生方にもリウマチ治療の魅力伝える場になればと思います。

お食事をご用意しておりますので、皆様奮ってご参加ください。

『リウマチ外科医の苦労を讃える会』症例提示 プログラム：

座長：藤原 稔史（九州大学病院整形外科）

1. 血友病患者の人工股関節周囲感染に対して人工関節抜去をした1例
岸本 賢治（名古屋大学病院整形外科）
2. RA 治療中に結核性足関節炎を発症し下肢切断に至った1例
朝長 星哉（福岡大学医学部整形外科）
3. RA により寝たきりを経験し、両膝に著しい屈曲拘縮を生じた一例
鈴木 孝治（北海道整形外科記念病院）
4. RA 症例に対する TKA 術後大腿骨インプラント周囲骨折連鎖の恐ろしさを痛感している1症例
河本 泰成（松戸市立総合医療センター整形外科）
5. 繰り返す PJI →多発骨髓炎→死亡した RA 症例
水木 伸一（松山赤十字病院リウマチ膠原病センター）
6. 足関節術後に MRSA 感染をきたしたバンコマイシンアレルギーを有する RA の一例 —インプラント温存成功までの軌跡—
矢野 紘一郎（東京女子医科大学病院整形外科・膠原病リウマチ痛風センター）
7. Masquelet 法による足関節固定を行った RA の一例
藤原 稔史（九州大学病院整形外科）